
ルーツ

宝月藍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ルーツ

【ZPDF】

Z1693F

【作者名】

宝月藍

【あらすじ】

3人の少年少女の物語のエピソード

1死神誕生

「バイバイ、美香。司と仲良くね」

美香には、母の言葉の意味が理解できなかつた。

「美香 つ」

母が美香を抱きしめた。

「お母さん?」

「美香、ごめんね。ごめんね 」

美香には、母が泣いている意味が分からなかつた。

「おかあ 」

母は、家を出て行つた。

「美香、置いてかれたの?」

美香の目から、涙がこぼれた。

「 、離婚届?」

美香の目が、机の上に無造作に置かれた紙にむいた。テレビで見た事がある。

「ハハ アハハ 、離婚か 」

美香の目から、ぽろぽろと涙が、こぼれ落ちる。

「お母さんも、お父さんも 、大人なんか、大人なんか、だいつ
きらい」

そのとき、美香の心に悪魔が宿つた。

大人なんか、いなくなれ。

大人なんか、消してやる。

安藤美香（12）は、この3月29日、竜崎美香（12）となり、復讐の鬼、「死神」となつた。

「亮平？」

康介は、その場に立ち去った。

「康介、どうしたの？」

愛美が、康介の顔を覗き込んだ。

「亮平が」

「ひええ！」

愛美がこしをぬかす。

2人の前には、亮平が血を流してたおれていた。

「死んでる？」

愛美が、声を震わせる。

「縁起でもないこと言つなよ」

「でも」

亮平は、ピクリとも動かない。

「どうしようつ」

「かあさんは？」

「いない。」

「愛美、救急車。」

「あ、うん」

愛美は、救急車を呼んだ。

亮平は、病院に運ばれた。しかし、そのとき亮平の命は、燃え尽きていた。

後日、両親は「大野亮平殺人容疑」で逮捕された。

康介と愛美は、東京の親戚の家にひきとられた。

大野康介（12）、大野愛美（12）は12歳にして、弟、父、母をなくした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1693f/>

ルーツ

2011年1月16日14時30分発行